



今年も病院正面に植えてあるしだれ桜がきれいなピンク色の花を咲かせました(上写真;救急車も映り込んでいます)。ソメイヨシノより開花は数日遅く、長く咲いていました。

先月号でもお知らせしたように、この4月から、豊栄病院に常勤医師として齋藤 暁医師が加わりました。挨拶文・自己紹介を書いていたいただきました。

「今年度から豊栄病院で勤務となりました齋藤 暁(さいとう あきら)と申します。私は、卒後これまでに、新潟大学医歯学総合病院、新潟県立中央病院、佐渡総合病院、新潟医療センター、西新潟中央病院、県立新発田病院などの新潟県内の病院で勤務してきました。担当科は内科です。その中でも、呼吸器内科・アレルギーを専門にしております。喘息などの長く続いている咳などでお困りの方のサポートをしていきたいと思っております。また、呼吸器内科にこだわらず、内科疾患を全般的にみていき、皆さまの健康をサポートしていきたいと思っております。他には、以前に勤務していた病院で、感染制御チームのインфекションコントロールドクターとして、院内感染対策の実践や抗菌薬の適正使用などに関する業務もしてまいりました。当院でも、感染制御チームの一員として活動しており、当院の感染対策などにもつとめてまいります。

私は幼少期を豊栄で過ごしました。祭りな

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784

どの地域のイベントに参加したことは今でも鮮明に覚えており、とても楽しい思い出として、心に残っております。幼少期を過ごした豊栄に自分が今後医師として貢献していくことで、少しでも恩返しをしていければと思っております。精一杯、医療に従事し、地域の皆様のお役に立てればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。」



今年も、胎内チューリップフェスティバルに行ってきました。前月号で15時過ぎには空いていると書きましたが、混んでいました…。チューリップの奥の黄色く映っているのは菜の花です。とても広大です。

新年度、4月にはいり、患者総合支援センターにも若干の人的移動がありました。センター長には、小林真内科部長が就任しました。医療福祉相談室は齋藤(チーフマネージャー)・荒川・辻川・川口のMSW4名、地域医療連携室は涌井・中村の事務2名、入退院支援看護師は宮澤・鈴木・中村・川崎の4名で合計10名となりました。育休からの復帰者や新たな入職者が加わり、より充実した体制で新年度を迎えることができました。患者総合支援センターとして、医師、看護師、MSW、事務が連動しながら関係機関の皆様と連携することで、地域住民へ総合的な支援ができるよう取り組んでいきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

発行責任者・文責;豊栄病院広報係 宮島 透